

2022 年度 (令和 4 年度)

学校評価自己評価表

大門 中学校区 校番 54 福山市立 野々浜小 学校

最終更新日 2023年(令和5年) 1月19日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。

ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力 思考力・判断力・表現力 主体性・積極性 共感力
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども主体の活動を推進する。</li> <li>情報発信及び地域行事への参加等により、地域と学校の協力体制を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考力・表現力が弱い。</li> <li>自尊感情が高まりつつあり、主体的に行動する姿が見えてきた。</li> </ul>	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	自ら考え、学び、表現し、自尊感情の高い生徒
		中学校区として統一した取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「子ども主体の学び」に向けた授業を創る。</li> <li>レーダーチャート等を活用し、学級力や自尊感情・主体性を高める取組をする。(年3回アンケート実施)</li> <li>学校における働き方改革を進める。</li> </ul>

III 自校

ミッション	「仲間と共に学ぶ楽しさ」「働く喜び」があり、保護者・地域が誇りにする学校	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	共感力	
学校教育目標	よりよく生きようと学び合う子どもの育成 ～ かしこく うつくしく たくましく ～	めざす子ども像	1・2年	自分で疑問や課題を見つけ、生活体験や既習事項をもとにして解決しようとしている。	生活体験や既習事項から順序立てて自分の考えを持ち、絵や言葉、動作などを駆使して表現している。	自分がやらなければならない勉強や仕事を進んで行っている。	身近な人に温かい心で接している。
現状	1・2年		疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決している。	生活体験や既習事項から理由や根拠をもとに自分の考えを持ち、絵や言葉、動作など適切な方法を選択し、表現している。	集団の中で、自分がやるべきことに気付き、進んで行動している。	相手の気持ちを考えて、行動している。	
<p>〈児童生徒〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心の余裕や自信のなさから、言葉や暴力で攻撃するなど、仲間を大切にしない言動が見られる。</li> <li>基礎学力の定着に課題がある児童がいるが、学ぼうと努力する様子が見えてきた。</li> <li>いつ、どのように対話するかを児童が自然な形で選び、仲間から学ぼうとする姿が増えてきた。</li> <li>主体的に活動する意識が高まり、学校行事や児童会活動で創意工夫して活動しようとする姿が見られる。</li> </ul> <p>〈授業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の主体的な学びを目指し、児童の考えを取り入れて単元の学習計画を立てたり、課題発見・解決ができるように発問の工夫を行ったり、対話を工夫したりしている。また、視点を明確にして振り返りを書かせて児童間に広げたり、次時の初めに紹介して「学びの自覚」を促してきている。その結果、思考の広がりが感じられるが、深まりの点では課題がある。児童理解力と授業力の向上を図る必要がある。</li> </ul>	3・4年		疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。	生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えを持ち、目的や意図に応じて、論理的に説明したり、適切な方法を選択したりして表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、自分から行動している。	相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。	
		5・6年					
		テーマ	個に応じた多様な学びを通して主体的に学び、思考力・判断力・表現力を高める授業づくり				
		研究内容等	算数科・図画工作科を中心に「見方・考え方」を働かせた発問や学習過程の研究を進めることを通して、各教科の特質を生かした「深い学び」の授業づくりをめざす。				
		めざす授業の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が進んで学びに向かい「できた・わかった・楽しい」と思う授業</li> <li>児童が学び方、学習内容、表現方法を選択し、学びが深まる授業</li> </ul>				